

全教栃木 教育新聞

発行 全栃木教職員組合（全教栃木） 全日本教職員組合（全教）に加盟しています。

〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30 TEL 028-653-0353 FAX 028-653-1579

http://www.zenkyotcg.org E-mail info@zenkyotcg.org

沖縄に1000人を超える全教組合員が結集！ 全教『未来をひらくプロジェクト』に、栃木からも7名が参加



全体会での創作和太鼓集団の演舞

全日本教職員組合（全教）は昨年12月24～25日、憲法を守る取り組みと組織拡大の目標達成をめざす取り組みとして、「全教『未来をひらくプロジェクト』ゆいま～る-見て聞いて学んでつながろう-」を沖縄県で開催しました。全国から約1100名が参加し、栃木からも青年組合員7名が参加しました。

参加した芳賀地区の小学校女性教員からの報告を紹介します。

2016年のクリスマス、全教栃木青年部7名で沖縄へ行きました。終業式が終わっ

て、あまり準備が整わないまま慌ただしく沖縄へ出発。不安いっぱいでしたが、何か少しでも学んでお土産にして、栃木へ帰ろうと思いました。那覇空港に到着すると、沖縄はあったかい！冬じゃないみたい！と感じ、そして会場へ着くと、たくさんの全国の先生方がいて、一体何が学べるのかなとワクワクしてきました。

知らないことは怖いこと

「ゆいま～る」のオープニングでは、創作和太鼓集団による演舞を鑑賞。沖縄

へ来たということ改めて実感しました。稲嶺進名護市長が会場に来てあいさつをしてくれ、翁長雄志沖縄県知事からもメッセージが寄せられたのには驚きました。

元アナウンサーで現映画監督・ジャーナリストの三上智恵さんによる全体講演。昔、千葉で先生をしていたこと、アナウンサーであったこともあり、とても話が上手で楽しく聞くことができました。しかし、その中でも沖縄の歴史、基地問題の本質、その他私たちが知らないことがたくさんありました。見えていることが全て正しい訳ではない、事実ではないこともある。だから、何が正しいのか正確に見ることが大切であること、そのためには知ることが大切であることを話されていました。知らないって怖いなと思いました。自分の目で正しく判断できるようになるためにも学ばなければならないことを痛感しました。

夕食交流会は全国の先生方と楽しい宴



全国の仲間と学び合った分科会。

の時間になりました。美味しいビールとお料理とともに、以前「TANE」（全教が開催している青年教職員学習交流会）でお会いした先生とも再会できたり、生演奏を見ることができたりと、とてもいい時間を過ごせました。外はクリスマスのライトアップがとても綺麗。思わず出てみると、クリスマスなのにあったかくて、なんだか不思議な気分でした。海と綺麗なライトに癒された初日でした。

（2面に続く）

「みんなで合格をめざす採用試験学習会」を開催します

○日時 2017年2月4日（土）13:30～16:40

○会場 とちぎ福祉プラザ2階 第2研修室
宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940

○内容 合格体験談、採用試験実施要項の説明、参加者同士の経験交流・作文など
※資料代として500円の負担をお願いします。
参加申し込みはE-mailで info@zenkyotcg.org

4月から小学校3年生も35人学級に！

福田富一知事は4日に行われた記者会見で、小学校3年生の35人学級を、来年度から実施すると述べました（5日付『下野新聞』など。記事は右の写真）。そのために、新たに60人の教職員を採用し、3億数千万円の予算を計上するとしています。

私たちは毎年、知事と県教委宛に「教育予算の増額、父母負担軽減、教育条件の改善を実現して、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める要請」署名に取り組んできました。この署名には、前号でも紹介しましたが、多くのPTA会長からも多くの署名が寄せられています。こうした署名も知事の決断を促したものと確信しています。

知事は「4年生以上についても検討していきたい」（記事から）としています。中学校



1面からの続き
全学年の35人学級を実現したのも福田富一知事でした。小学校でも全学年で35人学級となることを期待します。

働く時間は再任用者の希望を尊重すべき！

再任用について、2015年3月に都道府県知事や政令市長に対し、総務副大臣から「地方公務員の雇用と年金の接続について」（総行高第2号 平成25年3月29日）と題した通知が発せられています。この通知では、再任用についての取り扱いを以下のように求めています。（要旨）

1 職員が再任用を希望する場合、当該職員の任命権者（県教委）は、当該職員が年金支給開始年齢に達するまで、常時勤務を要する職に当該職員を再任用するものとする。ただし、当該任命権者は、職員の年齢別構成の適正化を図る観点から再任用を希望する職員をフルタイム職に再任用することが困難であると認められる場合又は当該職員の個別の事情を踏まえて必要があると認められる場合には、当該職員が年金支給開始年齢に達するまで、短時間勤務の職

に当該職員を再任用することができること。
5 多様な働き方を求める60歳を超える職員が、勤務時間以外の時間を活用して、希望する人生設計の実現に資するため、職員が培ってきた多様な専門的知識や経験を活かした活動や新たな分野での活動を行うことを希望する場合には、公務の遂行等に支障が生じない範囲内で適切な配慮を行うことに留意いただきたいこと。
再任用短時間勤務職員に対する営利企業等の従事の許可については、公務に支障を来したり、公務の信用を失墜させたりするなどのおそれがないよう十分留意しつつ、再任用短時間勤務職員の勤務形態等を勘案して必要に応じ弾力的な運用を行うことが可能であること。

私たちの再任用制度に、この通知の趣旨は生かされているでしょうか？再任用に関するご意見を全教栃木にお寄せください。

1面からの続き

私たちのために話をしてくれた語り部のみなさん！

二日目は朝からフィールドワークでした。ひめゆり平和祈念館へ行きました。ひめゆり学徒隊であった語り部の方が、自分の経験話しながら案内してくださいました。想像をはるかに超えた沖縄戦の話の聴いているうちに、胸が苦しくなってしまう涙が出てきました。まだ10代の夢や希望に満ち溢れている女の子たちが、どうしてこんなことをしなければならぬのか、自分が同じ年齢の時同じことができるかと考えると、全く想像ができませんでした。戦争の恐ろしさと辛さを強く感じました。

後で知ったのですが、昔は毎日語り部の方たちが話してくださっていたらしいのですが、今はやっていないそうです。なんとこの日、全国の先生が100人以上来るということを聞き、わざわざ私たちのために駆けつけてくださったそうです。貴重な時間を作ってくくださった語り部の方々のあたたかさに触れ、沖縄がもっと好きになりもっと知りたくなりました。

続いて「ガマ」へ行きました。中は生暖かく、電気を消せば真っ暗です。壕の中の暗さは外での暗さとは違い、目が全く慣れません。しかも季節は8月、12月でも壕中は生暖かいです。その中で600人もの人が生活をしてたと知り、想像を絶するとはこういうことかと思いました。子どもも大人も関係なく、食べ物を返せと言え命を狙われ、英語が話せるだけで命を狙われ、一体人々は何を信じて生きていたのだらうと思いました。外に出る時女の子たちは全身に泥を塗ったと話していました。汚い身なりなら嫌がられると思ったそうです。年頃の女の子たちが、体中に泥を塗るなんて信じられ

ませんでした。最後に、沖縄県民はみんなが遺族なんですよ、と話されていました。私も祖父が遺族ですが、遺族の存在をそんなに身近に感じたことはありませんでした。こんなに苦しい時代を生きた沖縄県ですが、日本は加害の国なんですよ、と話されていました。信じられない数のベトナム人の命を奪ったのです。しかしそれははつきりと歴史では教わっていません。知らないしなければならないことを教えてもらえない教育って何だろうと、怖くなりました。

沖縄の人たちだけが当事者ではない！

沖縄の教職員の方々とも交流をしました。私は初めて知ったのですが、沖縄の戦いが終わった6月23日、沖縄県民の方は黙祷をするそうです。知らないことがたくさんでした。交流する中で、この二日間で知ったことを伝えていくことが、私たちでもできることだと感じました。本質を見極め、正しいことを教えなければならぬと思いました。最後に沖縄の教職員の方々には、沖縄戦で亡くなった他県の方々もたくさんいる、だからみんなが当事者である、こういった活動は1人の力ではできないから、みんなで少しずつ活動していこうと話されていました。

世間はクリスマスである二日間、沖縄へ行くことができ本当に良かったです。知らないことがありすぎて怖くなりましたが、多くのことを知ることができて良かったです。これをどう伝えていこうかが課題です。私たちにできることを、どんな小さなことでもいいから少しずつ考え実践していけるよう頑張っていきたいと思えます。たくさんのことを学び、たくさんお土産を栃木へ持ち帰ってくる事ができました。